

消 防 救 第 60 号
平成 29 年 4 月 18 日

各都道府県消防防災主管部長 }
東京消防庁・各指定都市消防長 } 殿

消防庁救急企画室長
(公 印 省 略)

多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」の提供開始について(通知)

平素より、救急行政の推進につきまして御尽力いただき御礼申し上げます。

近年の外国人観光客の増加などに伴い、救急搬送において、外国人傷病者と接触する機会も多くなっています。このため、消防庁消防研究センターと情報通信研究機構（NICT）において、救急の現場で活用できる救急隊用の多言語翻訳アプリ「救急ボイストラ」を共同開発し、全国の消防機関への提供を開始することとしました。なお、この開発にあたっては、札幌市消防局等において、冬季アジア札幌大会等で試行的に活用した結果を踏まえ、改良を行っています。

つきましては、積極的に活用を検討いただくとともに、各都道府県にあつては、貴都道府県内市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても、この旨周知されるようお願いいたします。

記

1 「救急ボイストラ」の概要（別添1）

情報通信研究機構が開発した多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra(ボイストラ)」をベースとして、救急現場で使用頻度が高い会話内容を「定型文」として登録し、外国語による音声と画面の文字により円滑なコミュニケーションが可能となる救急現場用の多言語翻訳アプリです。また、定型文以外の会話も、音声翻訳が可能です。

さらに、話した言葉が、日本語文字としても表記されることから、聴覚障害者などとのコミュニケーションにも活用が可能です。

なお、通信料は利用者負担となりますが、同アプリのダウンロードや利用料は無料です。

2 対応言語（15言語）

- (1) 英語 (2) 中国語 (3) 韓国語 (4) スペイン語 (5) フランス語 (6) タイ語
(7) インドネシア語 (8) ベトナム語 (9) ミャンマー語 (10) 台湾華語 (11) マレー語
(12) ロシア語 (13) ドイツ語 (14) ネパール語 (15) ブラジルポルトガル語

3 導入手順

(1) 端末の動作環境の確認

インストール対象端末が、以下の条件に適合していることを確認してください。

OS（必須）

Android OS 4.1 以降

※iPhone 等の iOS への対応は 29 年度中の予定であり、提供の際には追って連絡させていただきます。

ハードウェア仕様（推奨）

CPU Snapdragon 800 以上または、Atom Z3560 以上、RAM 2GB 以上
画面 FHD(1920×1080 画素)以上

インターネットにより、以下のページに接続可能なもの。

・インストール時

Android OS の Google Play のページ

<https://www.nict.go.jp>、<http://voicetra.nict.go.jp/>、<http://nrifd.fdma.go.jp>

・動作時

<https://service-1.sts.nict.go.jp>

(2) 導入意向調査書及び同意書の提出

(1)の動作環境があり、活用を希望する場合は、「救急ボイストラ導入意向調査書」(別添2)及び「救急ボイストラ利用規約同意書」(別添3)を提出してください。

受付期間 平成 29 年 5 月 8 日(月)～5 月 26 日(金) 17 : 00

※この期間に間に合わない場合は、準備ができ次第、導入意向調査書を送付してください。
この場合、導入までの時期が遅れることをご了承ください。

送付先 消防研究センター救急ボイストラ担当

kyukyuvoicetra@fri.go.jp

(3) 導入可能時期の連絡

(2)で「救急ボイストラ導入意向調査書」を提出していただいた消防本部には、6 月下旬までに導入可能時期を連絡します。

なお、希望が多数の場合は、導入可能時期が遅れる可能性もありますので、ご了承ください。

(4) テストインストール

導入の可否を判断する際に、実際にインストールしたい場合は、「救急ボイストラ～インストールと基本の使い方～」(別添4)を参考に、インストールしてください(インストールは、4月21日(金)10時から可能です)。

この場合において、導入する端末は必要最低限としてください。

また、一時的なもので、恒久的な導入を認めるものではありませんので、ご注意ください。

(5) 実績報告

今後、1年間の使用回数、使用言語の内訳等について報告をいただく予定にしています。詳細は、導入した消防本部あてに連絡をさせていただきます。

【連絡先】

<導入、技術>

消防研究センター 救急ボイストラ担当 久保田勝明

E-mail : kyukyuvoicetra@fri.go.jp

TEL : 0422-44-8474 FAX : 0422-44-8474

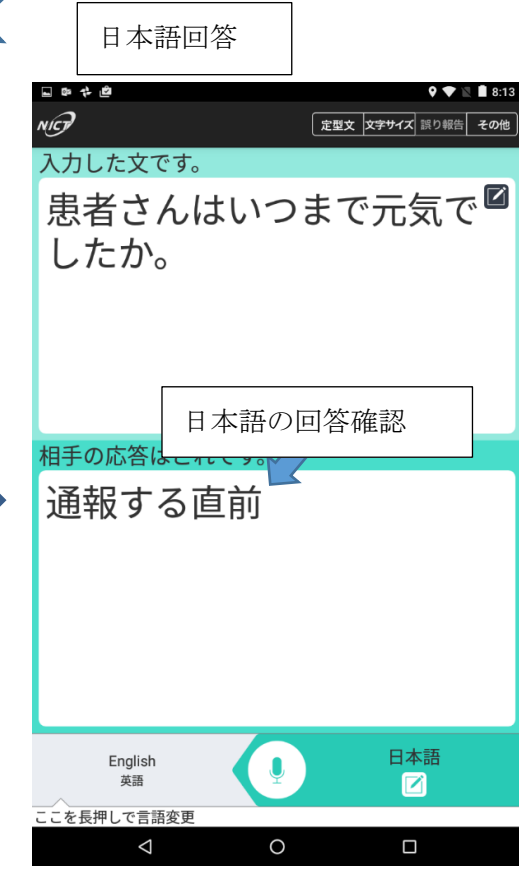
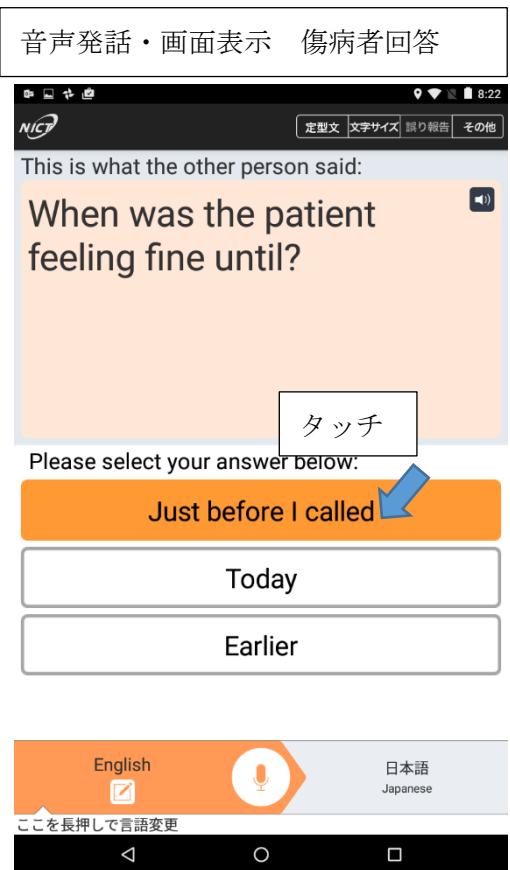
<その他>

消防庁 救急企画室 小川係長、石坂事務官

TEL : 03-5253-7529 FAX : 03-5253-7532

E-mail : t.ishizaka@soumu.go.jp

救急ボイストラの画面変遷図



救急ボイストラ 導入意向調査担当 宛
(kyukyuvoicetra@fri.go.jp)

救急ボイストラ導入意向調査書

以下の条件で救急ボイストラの導入を希望します。

記

- 1 導入台数 _____台
- 2 インストール端末名 _____
- 3 使用予定件数 _____件/年間 程度

※使用予定件数は、過去の外国人搬送者数を踏まえ大まかに予測してください。
(例 ○十件程度、○百件程度)

平成 ____年 ____月 ____日

消防本部名 : _____

【担当者連絡先】

部署名 : _____

担当者 : _____

電話 : _____

メール : _____

消防研究センター 所長 殿

救急ボイストラ利用規約 同意書

当消防本部では、消防庁消防研究センター（以下「消防研」）が提供するアプリケーションソフトウェア“救急ボイストラ”（サーバは、共同研究先の国立研究開発法人情報通信研究機構（以下 NICT））を利用する上で、利用規約に同意します。

平成 _____年 _____月 _____日

消防本部名： _____

消防長名： _____

(公印省略可)

【利用規約】

1. “救急ボイストラ”の利用にあたっては、“救急ボイストラ”のこの利用規約に加えて、iOS の場合は Apple 社が定めるライセンスアプリケーション・エンドユーザ使用許諾契約および App Store の利用規約が、Android の場合 Google 社が定めるライセンスアプリケーション・エンドユーザ使用許諾契約および Google Play の利用規約が適用されます。
2. “救急ボイストラ”に入力された音声やテキスト、その翻訳結果、端末情報（固有 ID 含む）、通信履歴、アプリの操作履歴、位置情報（以下これらを合わせて「利用者データ」といいます）はすべて“救急ボイストラ”のために NICT が提供しているサーバに記録され、音声認識・翻訳技術改良の目的のために様々な形で利用します。
3. 消防研と NICT は、利用者データから作成する統計情報を第三者機関に頒布することがあります。また統計情報は商用利用に供されることがあります。
4. 消防研は、“救急ボイストラ”をより多くの皆様にご利用いただけるように、利用者の利用時間に上限を設けることがあります。また消防研が利用者による“救急ボイストラ”の利用方法が不適切であると判断した場合には、当該利用者の利用を制限することがあります。
5. “救急ボイストラ”の利用のための通信料は、すべて利用者の負担となります。
6. 音声認識、翻訳技術は発展途上の技術であり、消防研は“救急ボイストラ”による音声認識、翻訳の結果の正確性を保証するものではありません。また消防研は、“救急ボイストラ”が中断なく利用できるよう努めますが、サーバのメンテナンスや災害時などの不測の事態等においては、使用できない可能性があります。
7. 消防研は、今後“救急ボイストラ”の性能評価・改良を行っていく予定です。そのため、“救急ボイストラ”の仕様を変更する場合があります。
8. “救急ボイストラ”の提供は、今後別の機関へ移行するか、使用状況により提供を終了する場合があります。
9. 利用者の端末にダウンロードされる“救急ボイストラ”に関連するソフトウェアの機能・仕様や、音声認識・翻訳技術を解析・リバースエンジニアリングをする事を禁止します。解析等の結果消防研や NICT の特許権や著作権等が侵害された場合には、消防研と NICT は差止や賠償請求をする場合があります。
10. “救急ボイストラ”は利用者の責任において使用してください。

以上

別添4

「救急ボイストラ～インストールと基本の使い方～」については省略